

2026年 3月 31日

株式会社シティアスコム

企業の Well-being を可視化する取り組みについて

株式会社シティアスコム（福岡市、代表取締役社長 池田 勝）は、当社の子会社である株式会社インクルーシヴシティ（福岡市、代表取締役社長 中間 裕一、以下「ICC」）および九州大学都市研究センター（センター長 馬奈木 俊介）が共同で実施している企業の Well-being の可視化に向けた取り組みに参加しました。

本取り組み（以下「本研究」）は、ICC が九州大学都市研究センターとともに、企業が従業員に対して行う各種施策が Well-being やワークエンゲージメントにどのような影響・効果があるのか、また、それが企業の KPI（Key Process Indicator：重要業績評価指標）にどのような影響を与えるかを分析するものです。

本研究は今年で2年目を迎え、今回は「施策の有効性」と「離職率の経済価値算出」に着目して分析を行いました。また、自社のみならず同取り組みに賛同する同業他社との比較も行い、複数の示唆を得ました。

例)

- 各社毎に離職率が1%変動した場合の経済価値を算出
- 離職率の低減に寄与する施策としては、「キャリア支援」「人事評価の透明性・手厚さ」が有効
- 「快適な作業環境・柔軟な業務形態」は、仕事満足度の向上を通じて高い経済的効果を生み出す

当社は、本研究で得られた示唆を踏まえ、社内施策の見直しや情報発信の強化などを進め、従業員の Well-being 向上に向けた継続的な取り組みを推進してまいります。今後も引き続き、学術機関との連携を通じて施策の効果検証を行い、実効性の高い施策の導入・改善に努めてまいります。

・ 関連リンク

[株式会社インクルーシヴシティ](#)

・ 参考資料

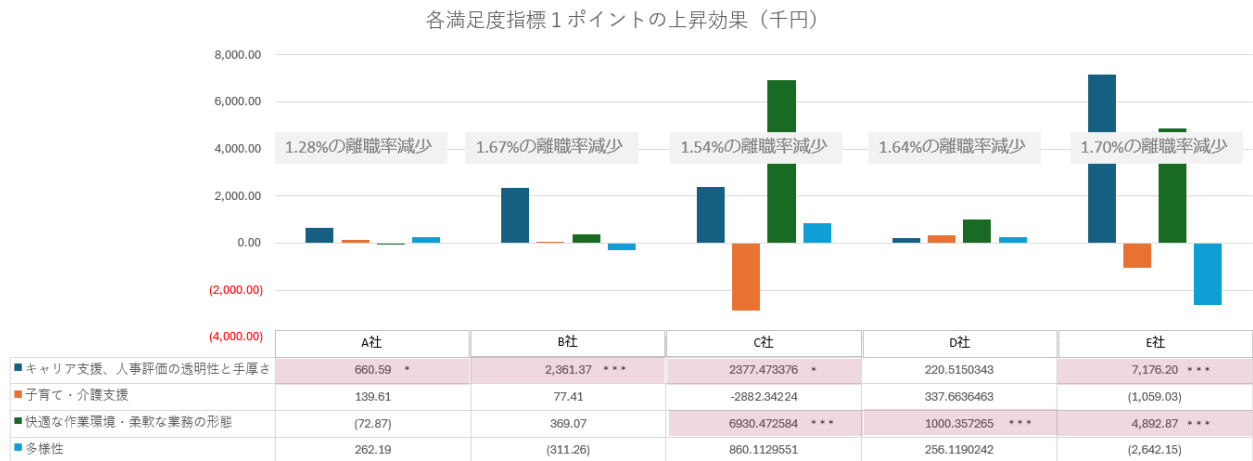
別紙をご参照ください

以上

本件に関するお問い合わせ先
株式会社シティアスコム グループ統括部 林田 TEL 092-852-5130

■図1 各施策満足度が1ポイント上昇した場合の離職率減少に伴う経済価値

「キャリア支援や人事評価の透明性と手厚さ」は、離職率を減少させ多くの会社で高い経済効果をもたらしている。C社、D社、E社では「快適な作業環境の整備」が従業員の業務効率や満足度に大きく寄与している。



■図2 各施策満足度が1ポイント上昇した場合のストレス減少に伴う経済価値

「快適な作業環境・柔軟な業務の形態」が最も高い経済価値を生み出し、特にC社、D社、E社で有意な効果がある。「キャリア支援・人事評価の透明性」はB社で有意なプラス効果がある一方、D社やE社ではマイナスの影響も見られる。

